

●編集顧問／牧野永城、菅原克彦、阿部令彦、出月康夫、武藤輝一、田島知郎、萩原 優、北島政樹、炭山嘉伸

●編集委員／跡見 裕、畠山勝義、桑野博行、宮崎 勝、島津元秀、渡邊聡明

●編集同人／佐野圭司、近藤芳夫、阪口周吉、鈴木章夫、秋山 洋、塩谷信幸、諏訪邦夫、岡崎春雄、松元輝夫、折田薫三、細田泰之

ゴールデンウィーク前の4月28日にWHOでphase 4と判定され、新型インフルエンザと認定された豚インフルエンザ(A/H1N1)は、2日後の30日にはphase 5に格上げされた。そして、メキシコ、アメリカ、カナダを中心に感染患者は増加し、その後、成田空港での日本人感染者の確認(5月9日)、神戸市(5月16日)や大阪府での感染者の国内発生と続いた。当初は強毒性の鳥インフルエンザ(H5N1)を想定しての対策だったが、幸いなことに今回の新型インフルエンザ(A/H1N1)は弱毒性で、感染性も弱いということが分かってきた。したがって、季節性のインフルエンザと同等の扱いでよいとの意見もあり、厚労省もだいたい緩和した対策に変更しつつあり、地域の実情に応じて柔軟な対応を行っていく方針を示している。

6月4日には厚労省は、国内で最も早く発症したのは神戸市の男子高校生の5月5日だったことを発表した。この高校生に渡航歴はなく、成田空港の検疫で「国内初」の感染者が確認される5月9日の4日前、神戸市で確認された5月16日の11日前のことである。すなわち、「国内初」の感染者が確認される5月9日以前より国内での感染が広がっていたことを裏付けている。もしそうなら、空港での水際阻止政策や濃厚接触者の10日間の停留措置は何だったのかということになる。6月4日現在の新型インフルエンザの世界の累計患者数は2万1,077人となり、死亡者は124人で死亡率は約0.59%となる。日本での感染者は6月10日現在497人で、死亡者はいない。しかしながら、これから冬に向かう南半球のオーストラリアでは感染者が増加しているという。そのためWHOは6月12日にphase 6と格上げを行った。厚労省は今年度内に2,500万人分の新型インフルエンザ用ワクチンを製造する方針と発表した。これら新型インフルエンザの影響で、多くの修学旅行や観光旅行が中止され、それに関連して旅行業への打撃をはじめとした経済情勢の悪化も問題視されている。日本を含めた北半球では感染拡大が一時収束したとしても、冬場にかけての第2波、第3波がどうなるのかは未知である。強毒性のウイルスに変異しないことを祈りたい。

(畠山勝義)

臨床外科 (第64巻第8号)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

2009年8月20日発行(毎月1回20日発行)

定価 2,730円(本体2,600円+税5%)

2009年年々ぎめ予約購読料 40,160円
電子ジャーナル閲覧オプション付 52,200円
増刊号を含む13冊、税込、送料小社負担

本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp

担当 田村・阿部・安部
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- JCOPY** (株)出版者著作権管理機構 委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。